



Aidexer presented by DNA

スタートアップマニュアル

2009年9月10日

株式会社 ジンテック

目次

目次.....	2
はじめに.....	3
1. ハードウェアの設置.....	4
2. 起動.....	4
3. Aidx のネットワーク設定用に使う PC のネットワーク設定.....	5
4. Aidx のネットワーク設定.....	8
4-① 固定 IP で運用する場合の設定（※DHCP で運用する場合は4-②に進む）...10	
4-② DHCP で運用する場合の設定（※固定 IP で運用する場合は5に進む）.....12	
5. Aidx の運用に関する設定.....	14
5-① インデックス生成に使うユーザの設定.....	16
5-② インデックス生成対象ディレクトリ設定.....	17
5-③ 検索/管理ユーザーの設定.....	21
6. 初回のインデックス生成.....	22

はじめに

Aidx は、Windows ファイル共有 (SAMBA/CIFS) のファイルサーバを定期巡回しながら Index やサムネイルを生成し、内蔵データベースによって高速な検索を可能にするシステムです。

ファイルサーバのどこかには置いてあるのだが、どこに置いたかわからなくなってしまったファイルを、一瞬のうちに見つけ出すことで、ファイル探しのための無駄な時間を劇的に減少させることができます。

ユーザーインターフェースは Windows 標準のブラウザ「Internet Explorer (6 以降)」を使用します。IE6 以降の機能を深く使うことや、Windows ファイル共有に特化した仕組みを作っていることから、Mac でのアクセスは保証しません。

導入の前に決めておいてほしいこと

導入初日にあわてないで済むように、以下のことを決めて、導入に備えてください。

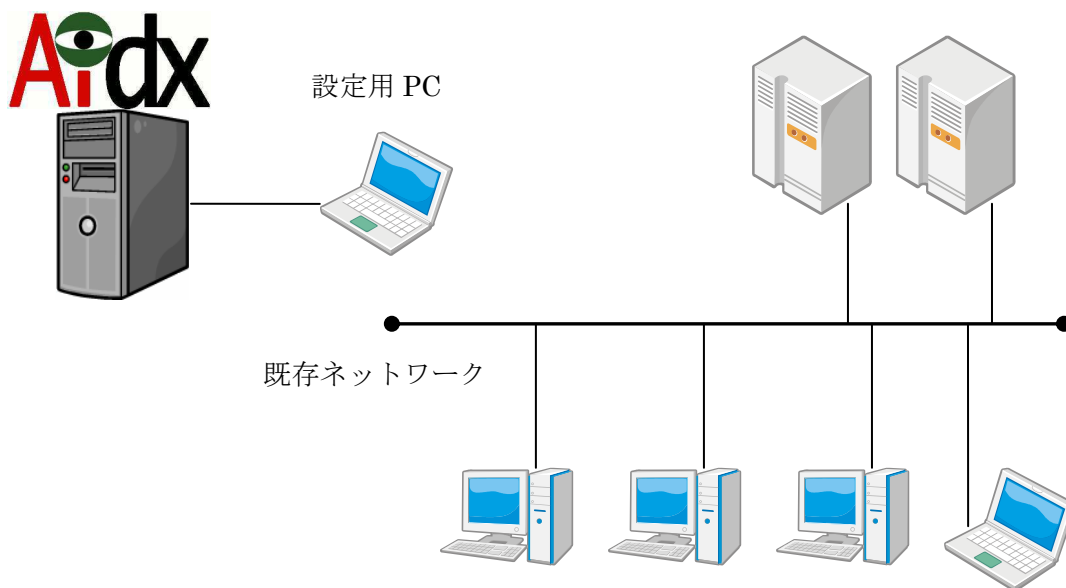
- ・巡回対象のネットワークボリュームを決めておいてください
- ・巡回対象のサーバ（複数でも可）の中に、巡回用アカウントを作り、巡回対象のボリュームを「リードオンリーで」アクセスできるように、ファイルサーバ側の設定を行っておいてください
- ・なるべくであれば、固定 IP での運用が望ましいので、IP アドレスの割り当てを行い、その IP アドレスおよび設置場所から、巡回対象ボリュームをファイルサーバとして利用できることを確認して置いてください。（ファイヤーウォール等でアクセスが妨害されないことを確認）
- ・本体設定用のパソコンを別途用意してください。既存ネットワークから一時的に切り離して、Aidx のネットワーク設定用に使います。

1. ハードウェアの設置

通風を妨げず、転倒を起こしにくい場所に本体を設置してください。

本体背面にあるネットワーク用コネクタに、ネットワークケーブルを接続し、それを、既存のネットワークを介さずに（できれば直結で）、Aidx のネットワーク設定用に使う PC と接続してください。

電源ケーブルを差してください。



2. 起動

本体の電源スイッチを入れて起動してください。

案内放送のチャイムのようなメロディーが鳴ったら起動完了です。

Aidx のネットワーク設定用に使う PC も起動してください。

3. Aidx のネットワーク設定用に使う PC のネットワーク設定

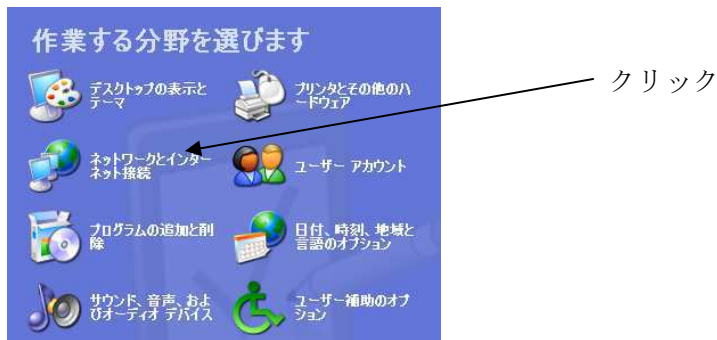
IP アドレス 192.168.123.2 / サブネットマスク 255.255.255.0 に設定してください。
方法については、WindowsXP Professional の例を示しますので、お使いの OS の変更方法に沿って実行してください。

(WindowsXP Professional の例)

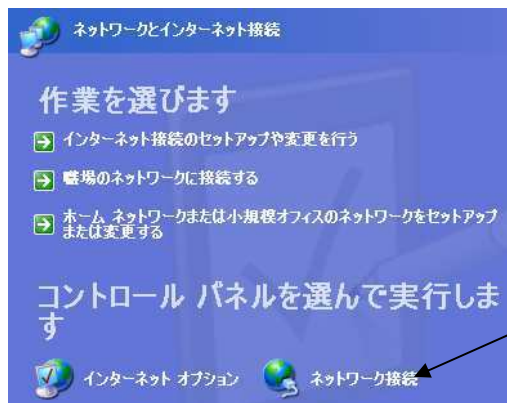
[スタート]→[コントロールパネル]をクリックしてください。



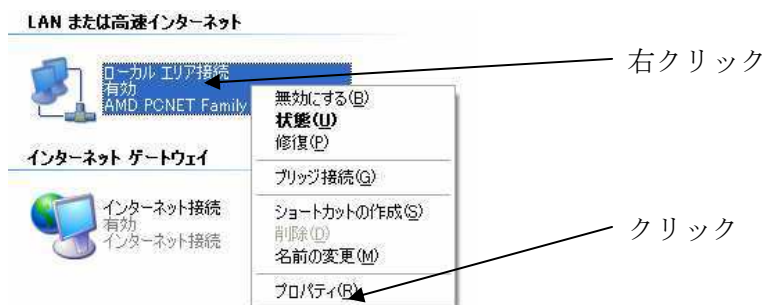
[ネットワークとインターネット接続]をクリックしてください。



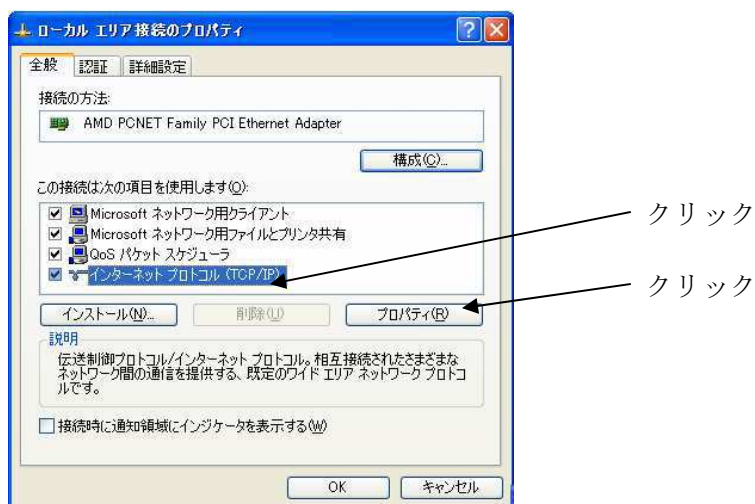
[ネットワーク接続]をクリックしてください。



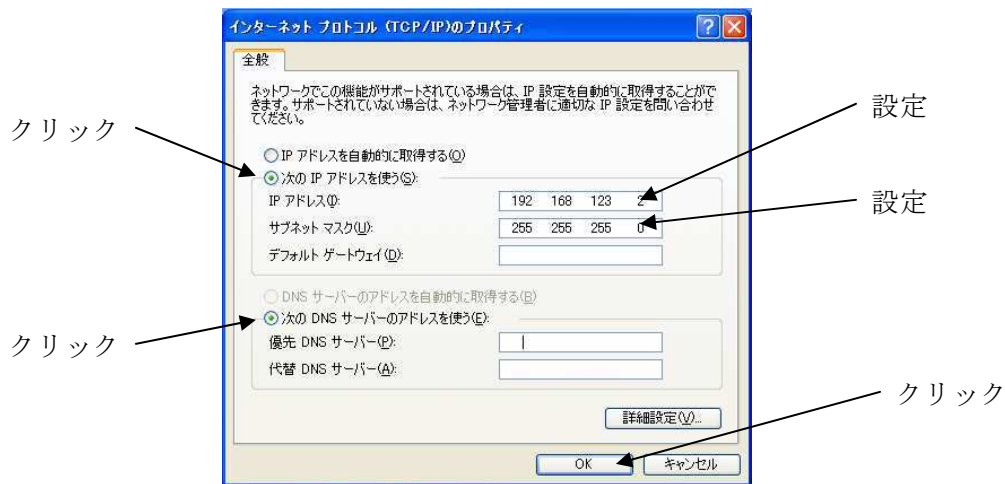
[ローカルエリア接続]を右クリックして、プロパティをクリックしてください。



[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックしてから、[プロパティ(R)]をクリックしてください。



[次の IP アドレスを使う(S)]と、[次の DNS サーバーのアドレスを使う]をクリックして、IP アドレスを[192 168 123 2]に、サブネットマスクを[255 255 255 0]に指定して、[OK]をクリックください。(※その他の欄は空白のままにしてください)



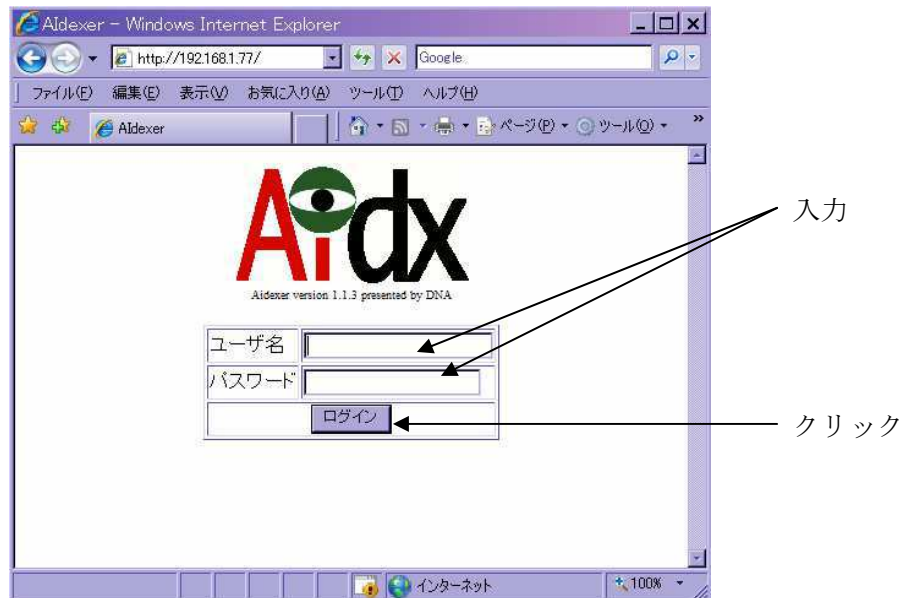
[閉じる]をクリックしてください。



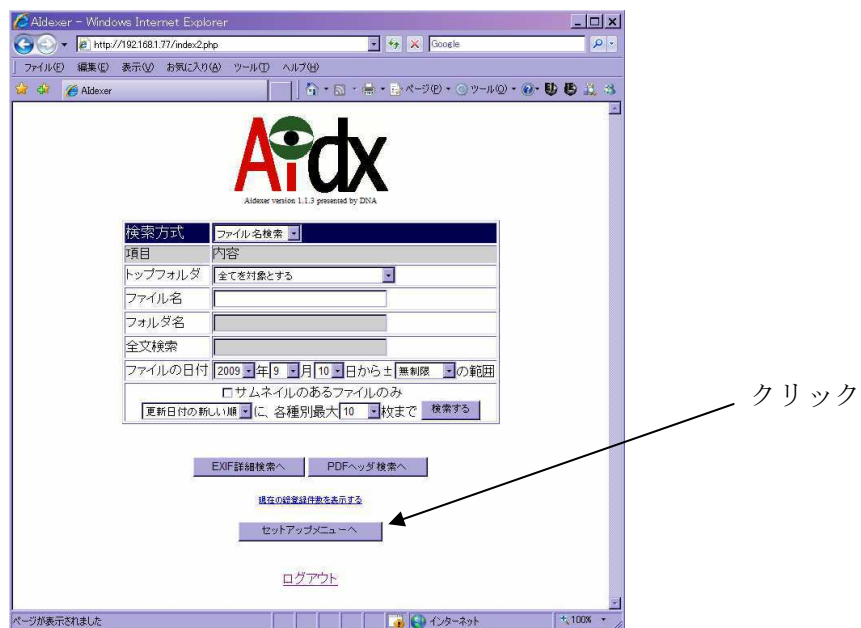
4. Aidx のネットワーク設定

Aidx のネットワーク設定用に使う PC のブラウザを立ち上げ、「http://192.168.123.1」にアクセスしてください。

以下のページが表示されますので、ユーザ名「admin」、パスワード「admin」を入力して、[ログイン]をクリックしてください。



[セットアップメニューへ]をクリックしてください。



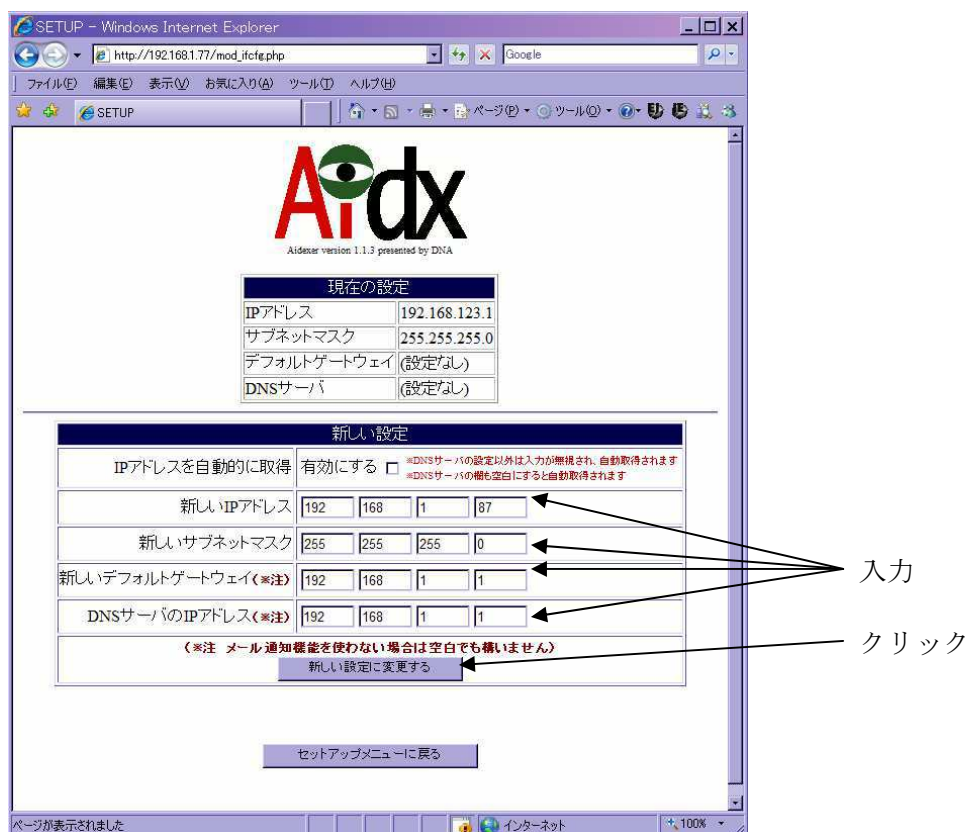
[IP アドレスの設定]の欄の[Go]をクリックしてください。



クリック

4-① 固定 IP で運用する場合の設定（※DHCP で運用する場合は 4-②に進む）

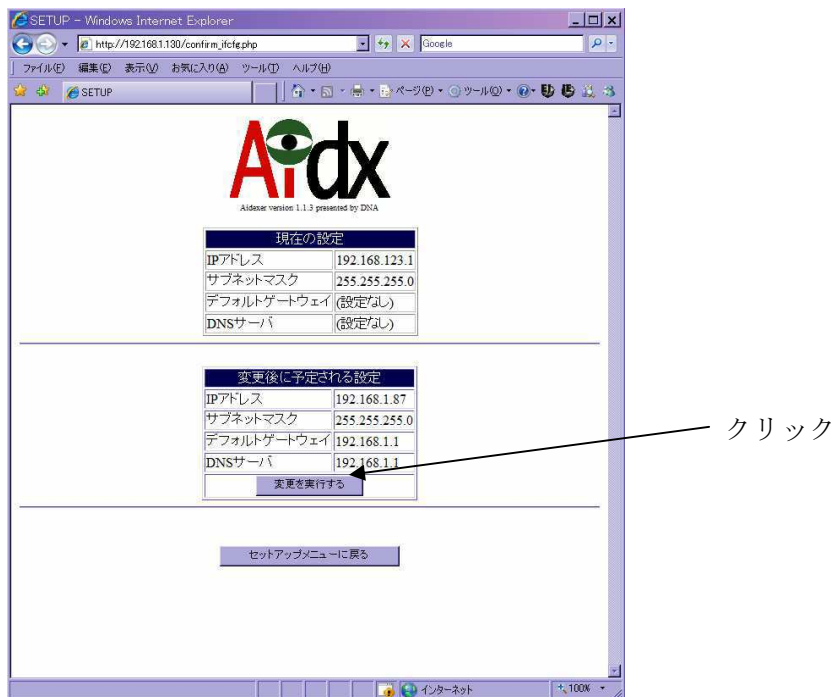
[新しい IP アドレス] / [新しいサブネットマスク] / [新しいデフォルトゲートウェイ] / [DNS サーバの IP アドレス]の欄に、Aidx を運用する際に使う値を入力して[新しい設定に変更する]をクリックしてください。



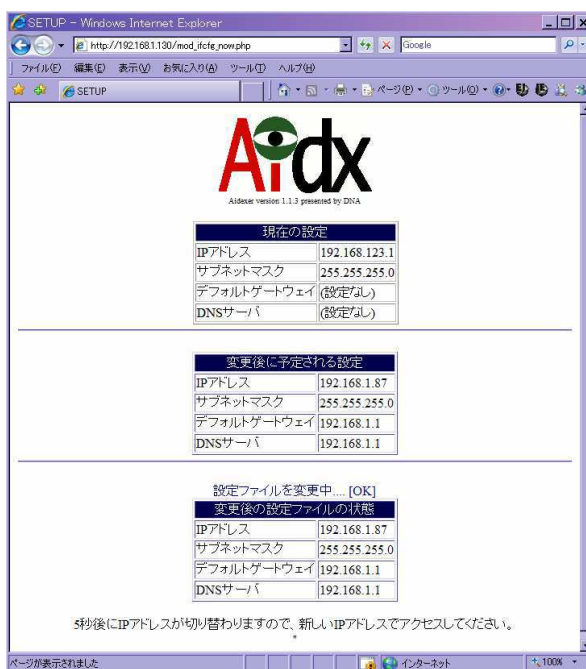
※注意

- IP アドレスは、ローカル IP アドレスしか指定できません
- メール通知機能を使わない場合は、[新しいデフォルトゲートウェイ]および[DNS サーバの IP アドレス]の欄を空白にすることが可能ですが、メールによる通知は是非使うことを推奨いたします

[変更を実行する]をクリックしてください。



以下の画面が表示され、IP アドレスが変更されます。



以上でネットワークの設定は終了です。Aidx のネットワーク設定用に使う PC を元の設定に戻してください。

4-② DHCP で運用する場合の設定（※固定 IP で運用する場合は 5 に進む）

DHCP での運用は必ずしも推奨しませんが、可能になっています。

DHCP への設定変更を行った後で、DHCP によるアドレス取得が出来なかった場合、ネットワーク越しの設定が不能になるため、その際は、キーボード/モニタを使った直接操作による設定変更を要するようになります。

キーボード/モニタを接続して、IP アドレスの設定を直接確認できる場合を除き、先に、管理者マニュアルの「メール通知機能設定」の項目を参照して「一般通知」の設定を済ませてください。

IP アドレス「192.168.123.1」を誰も使っていない状況を確認の上で、Aidx とネットワーク設定用に使う PC を、実際に運用するネットワークに接続してください。

[IP アドレスを自動的に取得]の「有効にする」の右側のチェックボックスをチェックしてください。

必要があれば、DNS サーバの IP アドレスを指定することも出来ます。DNS が DHCP により自動取得出来る場合、入力が必要ではありません。

[新しい設定に変更する]をクリックしてください。

現在の設定

IPアドレス	192.168.123.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	(設定なし)
DNSサーバ	(設定なし)

新しい設定

IPアドレスを自動的に取得 有効にする ※DNSサーバの設定以外は入力が必要で、自動取得されません。またDNSサーバの機能に応じて自動取得されます。

新しいIPアドレス

新しいサブネットマスク

新しいデフォルトゲートウェイ(※注)

DNSサーバのIPアドレス(※注)

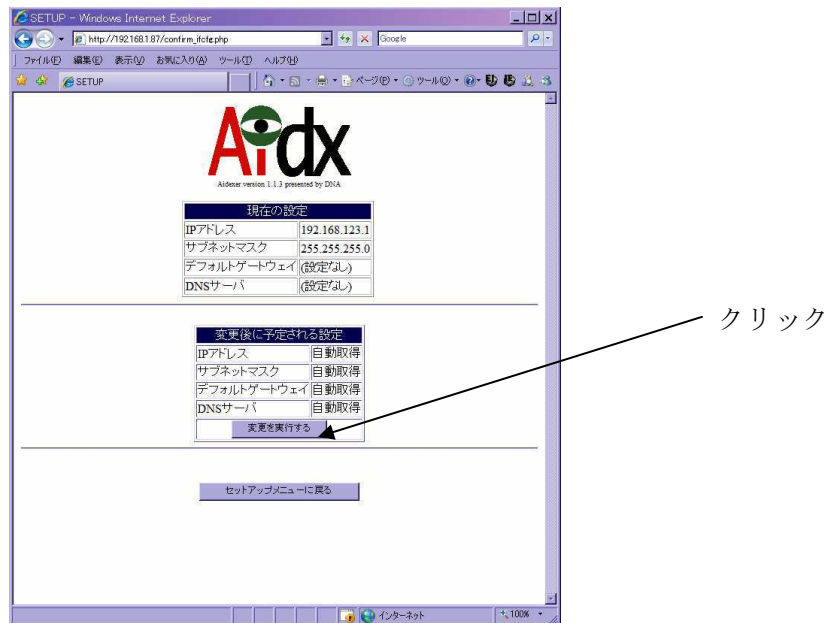
(※注 メール通知機能を使わない場合は空白でも構いません)

チェック

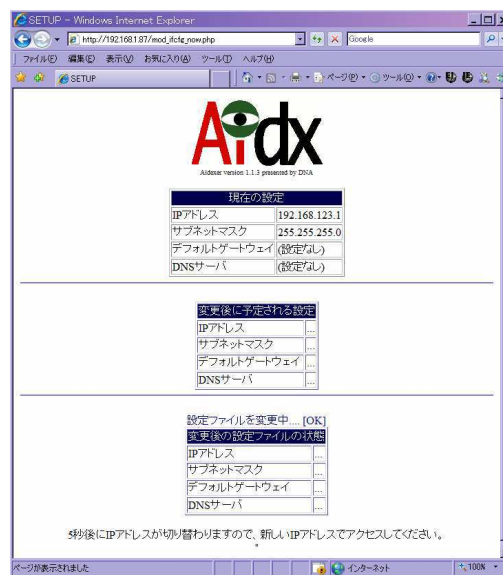
必要があれば指定

クリック

[変更を実行する]をクリックしてください。



以下の画面が表示され、IP アドレスが変更されます。



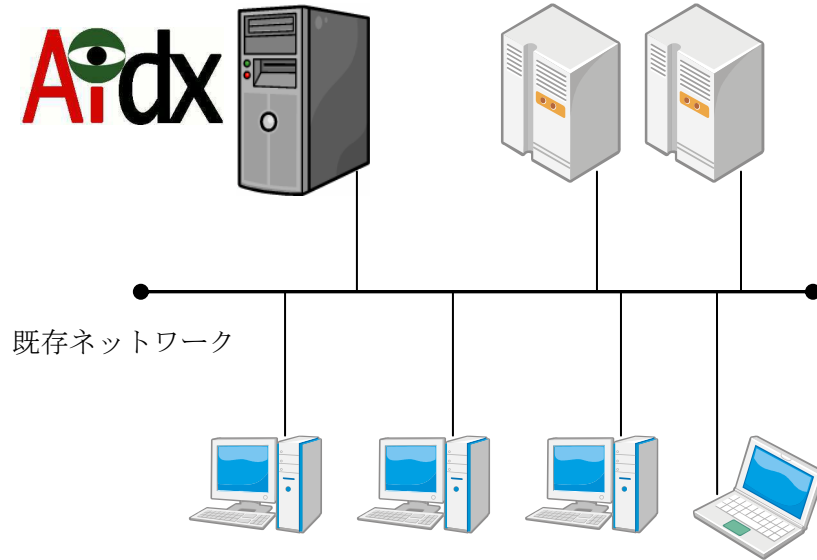
メール通知機能設定を済ませた場合は、「[Aidx]<NOTICE> IP アドレス:192.168.1.87 でネットワークのリスタート成功」というような件名のメールによって、DHCP で取得された IP アドレスが通知されます。

以後のアクセスは、「http://DHCP で取得した IP アドレス」で行ってください。

以上でネットワークの設定は終了です。Aidx のネットワーク設定用に使う PC を元の設定に戻してください。

5. Aidx の運用に関する設定

Aidx を実際に運用するネットワークに接続してください。

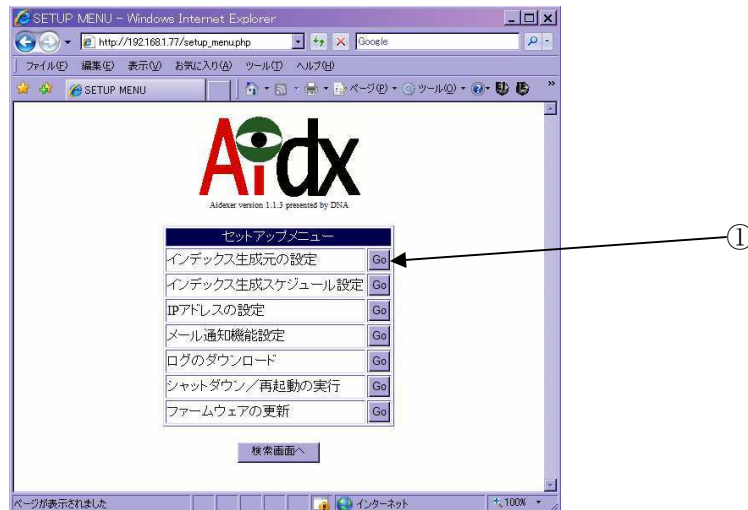


運用時に Aidx にアクセスするために使う PC のブラウザを立ち上げ、

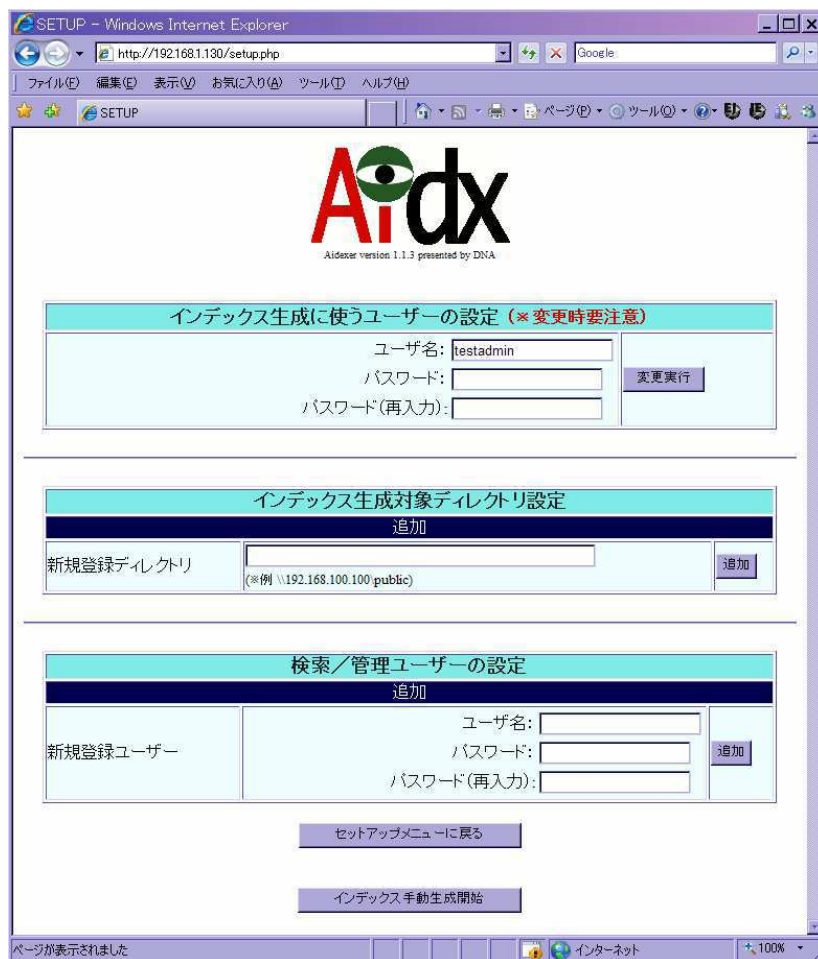
「http://Aidx の IP アドレス」にアクセスして、ユーザ名 admin、パスワード admin でログインしてください。

ここでは、運用上最低限必要なインデックス生成元の設定のみ解説します。

①をクリックすることで進むことができます。



「インデックス生成元の設定」では、当初以下のような画面が表示されます。



この画面では、大きく分けて3種類の設定を行います。

1. インデックス生成に使うユーザの設定

Aidx は、インデックス生成のためにファイルサーバの複数のディレクトリを巡回します。その際、全てのディレクトリに対して、同一のアカウント/パスワードでアクセスします。そのアカウント/パスワードの設定を行うものです。

2. インデックス生成対象ディレクトリ設定

Aidx が、どのファイルサーバのどのディレクトリに対してインデックス生成を行うかを設定します。

3. 検索/管理ユーザの設定

検索や管理を出来るユーザの、追加/削除/パスワード変更を行います。また、だれが、どのディレクトリに対して検索する権限を持つかを設定します。また、そのユーザに管理者権限を与えるか否かの設定もここでを行います。

5-① インデックス生成に使うユーザの設定

ファイルサーバ側の設定で、インデックスを生成したい全ての共有ディレクトリに対して、Read 権限以上を持つアカウントを作成してください。既にそういうアカウントがあれば、そのアカウントを使うことも可能です。

インデックス生成に使うユーザーの設定 (*変更時要注意)

ユーザ名: testadmin

パスワード:

パスワード(再入力):

変更実行

入力

クリック

そのアカウントの「ユーザ名」と「パスワード」(およびパスワードの再入力)を入力して、「変更実行」のボタンを押してください。

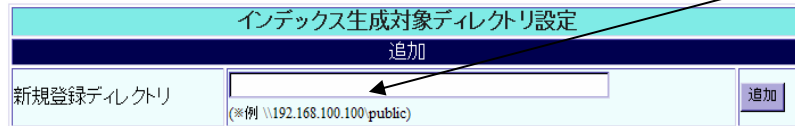
※注意

この部分の設定は、Aidx の運用開始の最初の 1 度しか使わないケースが多いと考えられます。もし、後からこれを変更する場合は、全てのインデックス生成対象が、変更後のアカウント/パスワードでアクセスできるように、ファイルサーバ側の設定変更を行う必要があります。

※ PDC を使いドメインで運用しているファイルサーバにおいては、ユーザ名の欄には、「ユーザ名@ドメイン名」の書式で入力を行ってください。

5-② インデックス生成対象ディレクトリ設定

この設定では、インデックス対象ディレクトリを1つ追加する毎に、1行ずつ表示が増える仕組みになっています。最初は何も設定されていないため、まず、新規登録ディレクトリの追加を行います



ファイルサーバ内のインデックス生成対象ディレクトリの Windows ファイル共有としての共有フォルダ名を入力します

共有フォルダ名をコピー&ペーストで楽に入力するための手法を簡単に例示します。

WindowsXP を使った場合の入力の例です。

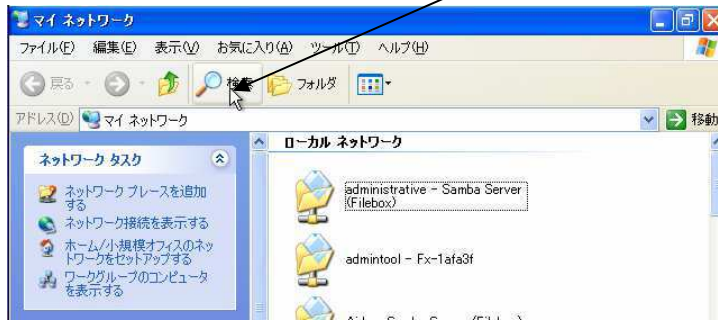
(※IP アドレス「192.168.1.2」のファイルサーバの「cgp」という共有フォルダをインデックス生成対象とする例)

[スタート]→[マイネットワーク]をクリックする



[検索]をクリックする

クリック



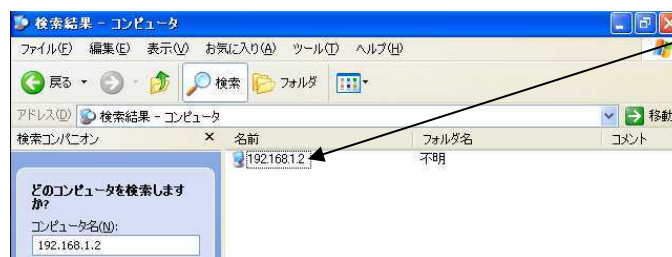
[コンピュータ名(N)]に「192.168.1.2」と入力して[検索(R)]をクリックする

入力

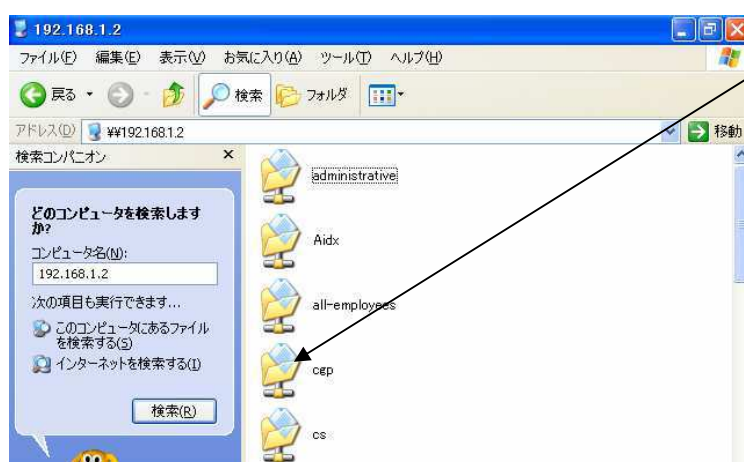


検索して見つかったコンピュータをクリックする

クリック

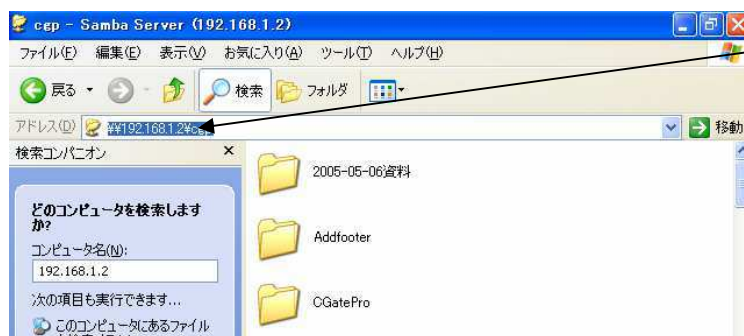


「cgp」フォルダをクリックする

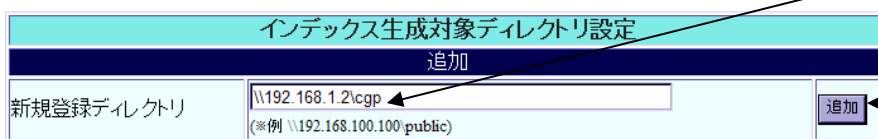


※ユーザ名/パスワードを求められる場合は入力してください

「アドレス(D)」の中で右クリックしてコピーする



「新規登録ディレクトリ」の所で右クリックして貼り付ける



¥が\置換されてに表示されますが、問題ありません。そして、追加ボタンを押します。(再確認も OK してください)

追加時には「インデックス生成に使うユーザーの設定」で指定されたユーザ名/パスワードを使って、実際にファイルサーバにアクセス可能か否かが検証され、可能であった場合のみ、追加が実施されます。

追加に成功すると、以下のように、現行に反映された表示が出ます。

インデックス生成対象ディレクトリ設定		
追加		
新規登録ディレクトリ	<input type="text" value=""/> (※例 \\192.168.100.100\public)	<input type="button" value="追加"/>
変更		
現行	変更内容	操作
\\192.168.1.2\cgp	<input type="text" value="\\192.168.1.2\cgp"/>	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>

登録した後、やはりここは対象から外したいときは削除を押してください。
変更というのは、インデックスが貼られてしまった後では、あまり有効に機能しませんので、初期の勘違いの修正等に使ってください。

5-③ 検索/管理ユーザーの設定

前項の説明で、1つのインデックス生成対象を追加した状態では、この設定部分は以下のように変わっています。

検索/管理ユーザーの設定		
追加		
新規登録ユーザー	ユーザー名: <input type="text"/> パスワード: <input type="password"/> パスワード(再入力): <input type="password"/>	<input type="button" value="追加"/>
変更		
ユーザー名	検索可能ディレクトリ	操作
admin (管理者ユーザー)	検索可能ディレクトリなし	<input type="button" value="変更"/>

クリック

これは、管理者権限のユーザですら、今追加したボリュームを検索できないことを示します。変更ボタンを押してください。

ユーザー「admin」の変更		
パスワード	パスワード: <input type="password"/> パスワード(再入力): <input type="password"/>	<input type="button" value="パスワードの変更"/>
管理者権限	管理者権限あり	唯一の管理者です
検索可能ディレクトリに追加	\\192.168.1.2\cgp	<input type="button" value="←検索可能ディレクトリに追加"/>

クリック

検索可能ディレクトリに追加を押せば、このボリュームを検索できるようになります。

一般ユーザーの追加や設定については、管理者マニュアルをご参照ください。

6. 初回のインデックス生成

必要なボリュームと、ユーザーの設定を終えたら、早速インデックスを作ってみましょう（※注）。ページ最下部にある「インデックスの手動生成開始」のボタンを押してください。

インデックス手動生成開始

即座に、ファイル名と属性のインデックス、およびサムネイルが作成されます。その後、順次全文検索用インデックスが貼られます。

数日後には、ファイルサーバ全域の高速検索を提供してくれることでしょう。

※注 初回のインデックス生成完了の通知について

管理者マニュアルの「メール通知機能設定」を参照して、メール通知機能の設定を済ませておけば、インデックス生成の開始／終了／失敗などがメールで通知されます。

通知を希望される場合、最初のインデックス生成を開始する前に、メール通知機能の設定を行っておくことを推奨します。

メール通知機能をお使いにならない場合でも、インデックス生成処理中は、「インデックス手動生成開始」のボタンが表示されずに、「インデックス生成プログラム動作中」という表示が出ますので、その状況を確認することは可能です。